

2014年度 第2回車座懇談会報告

一般社団法人 京都府情報産業協会企画委員会 特別企画WG

ビル・トッテン氏を囲んで「本当はもっとよくなるニッポンの未来」



開催日時 2014年2月24日(月) 18時より
会場 「ちおん舎」(衣棚通三条上る西側)



まずは京情協の長谷川会長の挨拶に始まり、講演会、そして会食で参加者のみなさんの交流、そしてフリーディスカッションへと、和気あいあいと会は運ばれて行きました。



～ビル・トッテン氏講演～

ビル・トッテン氏の近著でもある「本当はもっとよくなるニッポンの未来」をテーマに熱く語っていただきました。

- 税金＝消費税を上げてても税収は増えないどころか景気は良くなっていない。もっと別の方法を考えるべき。
- 日本の借金＝2012年で900兆円突破。どうして返済してゆくのか。子々孫々に負の遺産を継承するしかない。銀行は1円あれば100円貸し出せる。こんな仕組みを何とかすべき。
- エネルギー＝景気は悪くなっているのにエネルギー消費は増大。無駄遣いが多いとしか言い様がない。エネルギー税を導入して、エネルギーの無駄を省くと同時に、税収を拡大できる。
- メディアと政治＝「広告」は諸悪の根源。メディアは明らかに広告で維持されていて、広告主の不利益には働けない。広告はメディアを支配して政治をダメにする。広告費用は10%の課税対象にすべき。

などなど、その他、憲法、日中や日韓の国交問題、TPPについてなど、時間の短さに苛立ちを隠さず熱く語っていただきました。



～歓談タイム～

講演の後、株式会社島津ビジネスシステムズの三添社長の音頭により乾杯のご発声をいただき、ご参加の皆様同士の交流を深めていただきました。お料理も美味しく、非常に和気あいあいとした雰囲気の中で、充実した時間をおすごしいただいたものと思います。

～フリーディスカッション～

歓談の時間もあっという間に過ぎ、次はフリーディスカッションの時間に突入です。講演の内容、あるいはそれ以外の内容でも質問、そしてビル・トッテン氏にお答えいただきました。

Q: 消費税増税、法人税の減税について

A: メディアが消費税増税と法人税減税を同じ物のよう

に報道している。なぜなら広告主は法人であり、それらはメディアのお客さまだから。

Q: 太平洋戦争では日本の中枢部がアメリカに戦略性無く挑んだ。今も日本は戦略性がないのか？

A: 当時の日本は戦略性が無かったが戦うしかなかった。しかし、今の日本は更に戦略性がない。アメリカの操り人形である。今戦争が始まると中国は核を使う??尖閣にどれだけの価値がある?中国は日本にとって一番の顧客。

Q: アベノミクス効果で株価は上がったが、個人にとって実感が無い。メディア、政府に騙されないようにするにはどうすればいいのか

A: メディアを見るのではなく、自分でインターネットを使用して探るのが良い。誰かが報道するのを信じるのではなく自分で探す事が大事。



Q: ビル・トッテンさんは昨日何していた?

A: 肥料用の炭を作ったり、畑仕事など。日課で毎日 10 キロ歩く。

Q: 消費税について。他の国(税金が高い国)のように日本は良くなるのか?又良く思われない?

A: 日本は税を上げるが、福祉は下げようとしている。ほかの国と比べるのではなく、昔の日本と比べる方がよい。

Q: 日本のソフトウェア業界の現在と未来について。

A: 今の日本は沈む一方。戦後日本は道徳を止めてから沈んでいる。昭和末期までは良かった。道徳を知らない世代が作る世の中では良くはならない。ソフトウェア業界は若い世代に任せる。

Q: 今後若い世代への助言は?

A: ①商売は目標。 ②経費を抑える。お金を使い過ぎない。 ③自分の発想を特別に思わない。





～サプライズ～

白熱したフリーディスカッションも時間の都合で切り上げ、そしておまちかねのサプライズの時間です。ビル・トッテン氏の最新の書籍「本当はもっとよくなるニッポンの未来」を5冊準備し、抽選でご参加のみなさんに、サイン入りでプレゼントするというものでした。橋本さん、大野木さん、大石さん、川並さん、松清さん、当選おめでとうございます。



～参加者のみなさん～



講師のビル・トッテン様、ご参加の皆様、大変有難うございました。
この素晴らしい会場を、凄くリーズナブルにご提供いただきました「ちおん舎（西村様）」にも深く感謝いたします。
そして当会の企画・運営に当たりました京情協特別企画実行委員の皆さん、お疲れ様でした。

～参加者よりのメッセージ～

ビル・トッテン氏秘書様より>

今回の規模のセミナーがトッテンには一番話しやすく、またご参加者とも交流ができて良い感じだったとのことでした。本当にありがとうございました。

A 様より>

お客様と一緒に楽しくビルトッテンさんのお話を聞かせて頂きました。
ビルトッテンさんの幅広い視野・奥深い思考に本当に感心しました。

B 様より>

たいへん示唆に富む、貴重なお話を伺うことができました。
また、今後、このような企画があれば、是非、ご案内頂ければと存じます。
あと、もし可能であればトッテンさんの講演資料をPDFで構いませんので頂戴できれば幸いです。

C 様より>

ありがとうございます！とてもよい企画でした。今後ともよろしくお願いします。

D 様より>

24日には懇談会に参加させて戴きまして誠にありがとうございました。
ビル・トッテン氏の貴重なお話を聞かせていただき感銘いたしました。
SEは稼働システムでイレギュラーな事象が発生しますといろいろな角度からデータを収集分析し原因を特定して対処することに得意としております。
しかし、トッテン氏はシステム以外の経済で発生しているイレギュラーにおいても同じようにデータを収集し分析をされて、原因を結論付けておられました。
また、道徳や宗教への教育が変化したことによって人の価値観が変化し、これが経済低迷の原因の根底にあるとも分析をされておりました。
さすが凡人とは異なり成功された方は違うと言い切ってしまうかもしれませんが、私も凡人の中でも「ちょっとカッコいい凡人」になれるようトッテン氏をお手本に頑張っていきたいと思いました。
今回は本当にありがとうございました。また、機会がありましたらお声掛けいただければ幸いです。

E 様より>

昨晚はお世話になりました。本まで頂いて最高でした。恐らく「よう勉強せよ。」との神仏の思し召しかもしれません。心して読ませて頂きます。有難う御座いました。

F 様より>

昨夜貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。賀茂川耕助さんのご意見は過激に聞こえた方がいらっしゃるかと思いますが、私個人的には、まったく問題はありませんでした。むしろ、日本国内には、もっと多様な意見が公に聞こえる空気がほしかったくらいです。国と国の間の政治問題は政治家のゲームとっており、国民は同じ論調につられると、最終的に戦争で解決となってしまうそうです。なので、避けたいと思っており、どんな時代でも民間レベルでの人間と人間とのつながりは、グローバル時代には一層重要になってきたのではないかと思います。勝手に言いまして、失礼いたしました。

今後とも宜しく願いいたします。

<参加者概要>

当日は以下の企業、団体から43名のご参加を頂きました。

「*」印は、京情協イベントに初参加、あるいは久しぶりに顔出しいただいた企業・団体です。
先日の交流ビジネスフェアや他の委員会活動への参加なども併せまして、京情協イベント参加会社も少しずつですが増えてきているのではないのでしょうか。

<非会員>8社 10名

アクセンチュア株式会社

*株式会社アシスト

*株式会社滋賀富士通ソフトウェア

創研情報株式会社 (4月入会予定)

川並鉄工株式会社

*財団法人京都高度技術研究所

*株式会社 Funnel

三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社

<会員>21社 33名

株式会社A I V I C K

株式会社アルバス

インフォニック株式会社

システムプロデュース株式会社

株式会社島津ビジネスシステムズ

カゴヤ・ジャパン株式会社

*京セラコミュニケーションシステム株式会社

京都コンピュータ学院・京都情報大学院大学

株式会社近畿リサーチセンター

けいしんシステムリサーチ株式会社

ジック株式会社

*星和テクノロジー株式会社

株式会社たけびし

株式会社テイジエール

株式会社日本電算機標準

日本ユニシス株式会社

バンネットワーク株式会社

平井株式会社

*株式会社マックス

株式会社ユニシス

ワールドビジネスセンター株式会社

以上